

大学発スタートアップにおける経営人材確保支援（MPM）

2025年度採択事業者 調査報告書

2026年3月31日

大阪大学ベンチャーキャピタル株式会社

(1) 事業目的



課題

【関西を含む地方、経営人材候補の母集団形成】

ディープテックスタートアップ設立、及び成長加速を担う経営人材候補は関西を含む首都圏以外の地域は特に少なく、人材を発掘するための手段の多角化、検証が重要となっている。

【経営人材とマッチングする創業Readyなシーズの確保】

阪大の創業Readyなシーズは既に会社設立してしまっているため、関西以外のエリアの国立大学を含め、シーズを開拓する必要がある。

【海外事業展開を担う人材の確保、エコシステムの構築】

ディープテック分野のスタートアップは海外展開をスコープに入れ、創業検討、資金調達を行うケースが多くなっていることから、海外の顧客獲得、事業展開を担える経営人材が参画することの重要度がましているが、日本の採用市場にスタートアップでグローバル事業展開を経験した経営人材は限りなく少なく、グローバル経営人材候補の母集団形成、及び代替するエコシステムの構築が重要となっている

MPM以前の取組

【MPM2023採択以前】

- ・ 自社にて大阪大学の研究シーズと経営人材をマッチングするプラットフォーム「TUNAGU」を運営し人材の発掘・マッチングを実施
- ・ 起業家コミュニティである「upto4」を活用し、マッチングニーズのあるシーズを公開し、人材の発掘・マッチングを実施

【MPM2023採択後】

- ・ 検討潜在層を喚起するため、研究者に登壇いただくピッチイベントを年2～3回開催。
- ・ EIR制度を準備の上、遠隔から経営人材に参画いただける環境を整備
- ・ 独自グラントの拡充や海外アクセラレーションプログラムとの連携により、意思決定を促進

MPMで目指す姿

- ・ 過去の実践から苦戦をしたフルタイムEIRの人材確保に向け、人材紹介等への取組を強化し、経営人材の新規・追加手段について検証を行う。
- ・ 経営人材だけでなく事業化支援人材も多く求められるため、事業化支援人材確保に向けたチャネルの有用性の検証を行う
- ・ 地域の事業化支援機関と連携を強化し、阪大以外の他国立大学から早期創業に至る可能性のあるシーズを発掘する
- ・ グローバルVCと連携し、グローバル経営人材の確保のみならず、「Go to Market戦略」から「顧客獲得」「海外展開支援」その後の「海外VCからの資金調達」まで一気通貫で支援する仕組みづくりについて検証を行う

(2) 事業概要

実施項目	取組概要
①経営人材の発掘・育成	- 過去の取組で有効であった起業家コミュニティからの発掘を継続。 - 過去の取組で苦戦をしたフルタイムEIRの確保に向け、人材紹介会社等からの獲得を強化 - グローバル経営人材の発掘・育成に向け、グローバルVC Antlerと連携した仕組み構築に着手
②経営人材と大学等の技術シーズ・大学発スタートアップのマッチング機会創出	- シーズの確保に向け関西以外の地域の事業化支援機関と連携の上、創業Readyなシーズを発掘 - 過去取組から有効であったシーズピッチイベント等の採用イベントを継続
③経営人材として経営参画するための環境整備	- 過去の取組から有効であったEIR(客員起業家制度)を継続、フルタイム1名、業務委託3名の参画環境を整備 - 経営人材の活躍について、SUに求められるマイルストーンを指標とし、評価方法の検討を行う
④取組内容及び実施結果等についての自己分析及び報告会等への参加	- 月次でKPI数値、並びに各実施事項の振り返りを行い、適切に報告を行う - 報告会等については積極的に参加し、自社の報告はもちろんのこと、他事業者の取組を踏まえ、取組事項の検討を行う

(3) KPI

KPI	種別	目標値 (人/件数)	実績値 (人/件数)	備考
マッチング創出数				
イベントや個別紹介等の「出会い」に参加した経営人材の数		90	135	
「出会い」を経て、具体的な伴走支援等の「関係構築」に進んだ経営人材の数	SU創出	10	8	
	設立済みSUへの参画	20	10	
「関係構築」を経て、スタートアップの設立もしくは経営への参画等の「意思決定」に至った経営人材の数	SU創出	1	1	
	設立済みSUへの参画	3	2	
大学等の技術シーズを起点に、設立に至った大学発スタートアップの数	SU創出	1	0	2026～27年にかけて3社前後設立の見通し
大学発スタートアップ支援数				
経営人材が関与することとなる大学発スタートアップの数	設立済みSUへの参画	4	4	